

理解教育（4～6年生）



手話サークル「四季の会」の方々に来校いただき、聴覚障がいについてお話ををしていただきました。

コミュニケーションをとる方法として、手話や筆談があることを教えていただき、実際に手話を教えていただきました。

特に、四季の会の方々が話された「聴覚障がいがあることは不便だけれど、不幸ではない」という言葉が心に響きました。子ども達には、自分たちにできる手助けは何なのかを考えてみてほしいと感じました。